

(様式 2)

議事録番号

提出 2014 年 10 月 15 日

会合議事録

研究会名：革新的分子集積マテリアル研究会

日 時：2014 年 9 月 12 日

場 所：東京大学理学部化学教室 E 棟 201 号室

出席者：高谷 光（京大化研）、杉本邦久（JASRI）、松尾豊（東大理化）、岡田洋史（東大理化）、関口博史（JASRI）、為則雄祐（JASRI）、安田伸宏（JASRI）、小澤芳樹（兵庫県立大） 計 8 名

議題：革新的分子集積マテリアル開発のためのビームライン横断利用と包括的放射光利用について

議事内容：本会議は下記のプログラムに沿って、本会の趣旨説明およびビームライン担当者による革新的材料創出のための各ビームラインの取組みを最新の成果を具体例として例示・発表した。また、東大理化の松尾教授からは話題提供としてフラーレン誘導体を用いた有機太陽電池開発について、分子デザイン、構造解析、実用化までをご講演頂いた。これらの結果を踏まえて、最後に参加者全員で自由討論を行い、ビームライン横断利用と放射光測定の包括利用によって先端材料研究に飛躍的な進歩がもたらされるものと結論し、閉会した。

会議議事次第

- 10:00 趣旨説明 高谷光（京大化研）
- 10:25 趣旨説明と BL02B1 における分子材料構造解析 杉本邦久（JASRI）
- 10:45 「新規ナノ炭素材料と放射光測定」 松尾豊（東大理）
- 10:15 「小角測定の高度化と SP-8 II への展望：1 分子計測の実際」
関口 博史（JASRI）
- 11:45 「放射光軟 X 線の化学利用」 為則雄祐（JASRI）
- 12:15 「SP-8 における極微小有機結晶解析の可能性」 安田伸宏（JASRI）
- 12:30 自由討論
- 12:50 終了